

仙台市海外展開チャレンジ支援メールマガジン

～仙台・東北から海外・タイ王国へ！～

発行：仙台市経済局産業振興課国際経済室

ウェブサイト

<http://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/kaigai/index.html>

目次

1. タイへのビジネス展開入門 2
2. タイトレンド通信 Vol.13
3. 仙台市から海外展開支援のお知らせ
4. 他団体のセミナー・イベント等情報

事業者の皆さま

仙台市産業振興課国際経済室で海外展開の担当をしている吉澤です。

皆様 GW はいかが過ごされたでしょうか。

5 月は毎年恒例となっている在東京タイ大使館主催の“タイフェスティバル 2022”
がオンラインで開催されています！

今年のテーマは“T-POP（タイポップミュージック）”。タイのアーティストによる生配信などが行われるようです。

ご興味ある方はぜひチェックしてみてください。

www.gotothailand.jp/thaifestival

◇ タイへのビジネス展開入門 2

仙台ータイ経済交流サポートデスクの益雪です。

今回はタイでビジネスをするメリットについて考えてみましょう。

タイ人は親日国でコロナ禍になる前は沢山のタイ人が日本に観光のために旅行に来ていました。そのため、日本食や日本製品に対して、馴染みの深い人が多いです。

一昔前は、日本食レストランや日本からの輸入品の多くのターゲットは、在タイ邦人や一部のタイ人富裕層でしたが、昨今ではタイ人の所得増加やドンキホーテや回転寿司スシローの進出などの影響もあり、日本製品や日本食材、日本食レストランなどは一般のタイ人にも浸透し、マーケットは拡大し続けています。JETRO バンコクの調査によると日本食レストランの数も10年前に比べて約3倍近い4,370店舗(2021年調査結果)に増えています。直近の傾向ではバンコクではなく地方都市での店舗数が増えています。

タイは地理的にもASEANの中央に位置しています。タイの隣国であるカンボジアやラオス、ミャンマーとタイとの経済格差はまだ大きいですが、それらの国々が今後発展していけば、タイからビジネス展開をすることが考えられるため、ビジネス拠点としてもポテンシャルも高いといえます。

そして、最後にタイには日本では考えられないくらいの富裕層もいます。バンコクでも超高級スポーツカーが普通に街中を走っています。タイの富裕層は、良いものに対しての出費を惜みません。少し前までは、タイで一番の寿司屋は、日本人が出張者の接待に使うための店でした。しかし、現在ではタイの富裕層向けの高級寿司店ができ、日本からの直輸入の食材で握られる“おまかせ”の寿司はネタも最上級ですが、価格も東京の高級店並の設定となっています。なによりも予約を取るのが難しく、その希少性も富裕層の心をくすぐっているようです。日本では、“いいものを安く”が好まれますが、タイでは“珍しいものを高く”という切り口でもビジネスが成立します。そのような富裕層をターゲットにしたビジネス展開も拡大していくと思います。

タイでの日本関連ビジネスは、競争も激しくなっていることも事実です。しかし、マーケットも拡大しているため、タイビジネスへの参入のチャンスはありそうです。

◇ タイトレンド通信 Vol.13

タイの若者の間で“Photo Machine”が流行っています。

“Photo Machine”といわれてもピンと来ない読者が多いと思いますが、“Photo Machine”とは“プリクラ”と聞けばイメージが湧くのでは無いでしょうか。日本では、80年代から大ブームとなったプリクラも、携帯電話の普及に伴いブームが下火になりましたが、タイでも90年代には盛り上がったものの、日本と同様に昨今では見かけることが少なくなっていました。

しかし最近では、“Photo Machine”が、Siam/Ari/Ekkamai というタイの若者たちが集まる街に設置されているのを見かけるようになりました。タイの“Photo Machine”は、日本のプリクラのように写真を加工したりすることはできず、撮影した写真にフレームを付けたりモノトーンにしたりという程度の加工ができるだけのシンプルなものです。1回撮影するのに掛かるコストは、100～200 バーツ（約 380～760 円）と決して安いものではありません。

しかし、その場で写真がプリントアウトされるなどスマホ撮影ではできないことが、プリクラブームを知らない若者たちをノスタルジックな気分させることが人気に一因になっているようです。

洋の東西を問わず、ブームは再燃するものです。今後も、昔日本で流行った何かがタイでブームを巻き起こすかもしれません。

◆ 仙台市では、海外販路開拓にチャレンジする皆さまを応援します！

●仙台－タイ経済交流サポートデスク

コロナの影響でタイに渡航することが難しくタイについての情報収集ができずにお困りではありませんか？

仙台-タイ経済交流サポートデスクでは、タイ進出をご検討している皆様だけでなく、まだ進出までは考えられないが話だけ聞いてみたい、タイについて聞きたいことがあるなどタイに関する皆さまのご要望にお応えします。

タイについて知りたいことがあれば是非お気軽にご利用ください。

“仙台市の海外展開”の取組みをご活用いただき、多くの企業様がタイ進出にチャレンジしていただくことをお待ちしております。

詳しくは、以下をご覧ください

[https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/kaigai/supp
ort.html](https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/kaigai/supp
ort.html)

●仙台市輸出入チャレンジ支援助成金

仙台市では令和4年度も「仙台市輸出入チャレンジ支援助成金」を実施します。

今回も海外展示会出展やサンプルの輸出入、E コマースサイト出展など海外展開に幅広くご利用いただける内容になっています。

また、オンラインの商談会で使いやすいよう PR 動画作成費、オンラインでの通訳費の助成などにもお使いいただけますのでご活用ください。

詳しくは以下のリンクをご覧ください。

<https://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/challenge.html>

◆FBC アセアン 2022 ものづくり商談会

▼製造業特化型オンライン商談会

▼ベトナムおよびタイにおいて部材調達や販路拡大を検討している方向け

▼現地に進出している日系企業やローカル企業との商談機会の提供

▼現地会場でのブース出展や、オンライン出展・商談も可能

申込期限：2022年6月24日（金）

詳細：https://www.77bank.co.jp/pdf/newsrelease/22032801_fbcasean2022.pdf

◆ジェトロ主催セミナー/商談会/イベント情報

【オンライン商談会】ジェトロ商社マッチング（東北）

▼農林水産物・食品事業者が対象の海外に販路を持つ国内の輸出商社とのオンライン商談会

日時：2022年6月28日（火曜）、6月29日（水曜）

時間：9時00分～17時00分

対象企業：農林水産物・食品を取り扱う日本の事業者（中堅・中小企業）

参加費：無料

申込 URL：<https://www.jetro.go.jp/events/sen/2b6efb359bd68072.html>

◆中小機構東北本部 東北 Good (s) Selection 2022

▼東北6県に事業所を有する、食品（一次産品・加工品・飲料・アルコール）およ

び伝統工芸品や日用品を取り扱う中小企業・小規模事業者の海外販路開拓を支援
するプロジェクト

参加費：無料

https://www.smrj.go.jp/regional_hq/tohoku/event/2022/ucigs50000006eq9.htm

!

※このメールはこれまで仙台市産業振興課担当者から名刺交換させていただいた方や、
仙台市のイベント等にご参加いただいた方にお送りしています。

配信停止を希望される方はお手数ですが、このメールのタイトルに（配信停止希望）
と付記して返信いただければと思います。

バックナンバーはこちら

<http://www.city.sendai.jp/jigyosuishin/jigyosha/kezai/jigyosho/shien/mailmag.htm>

!

【発行】 仙台市経済局産業振興課国際経済室

tel : 022-214-1005 fax : 022-214-8321

email : kaigai-challenge@city.sendai.jp
